

## 日本食文化ナビ活用推進の基本方針（案）

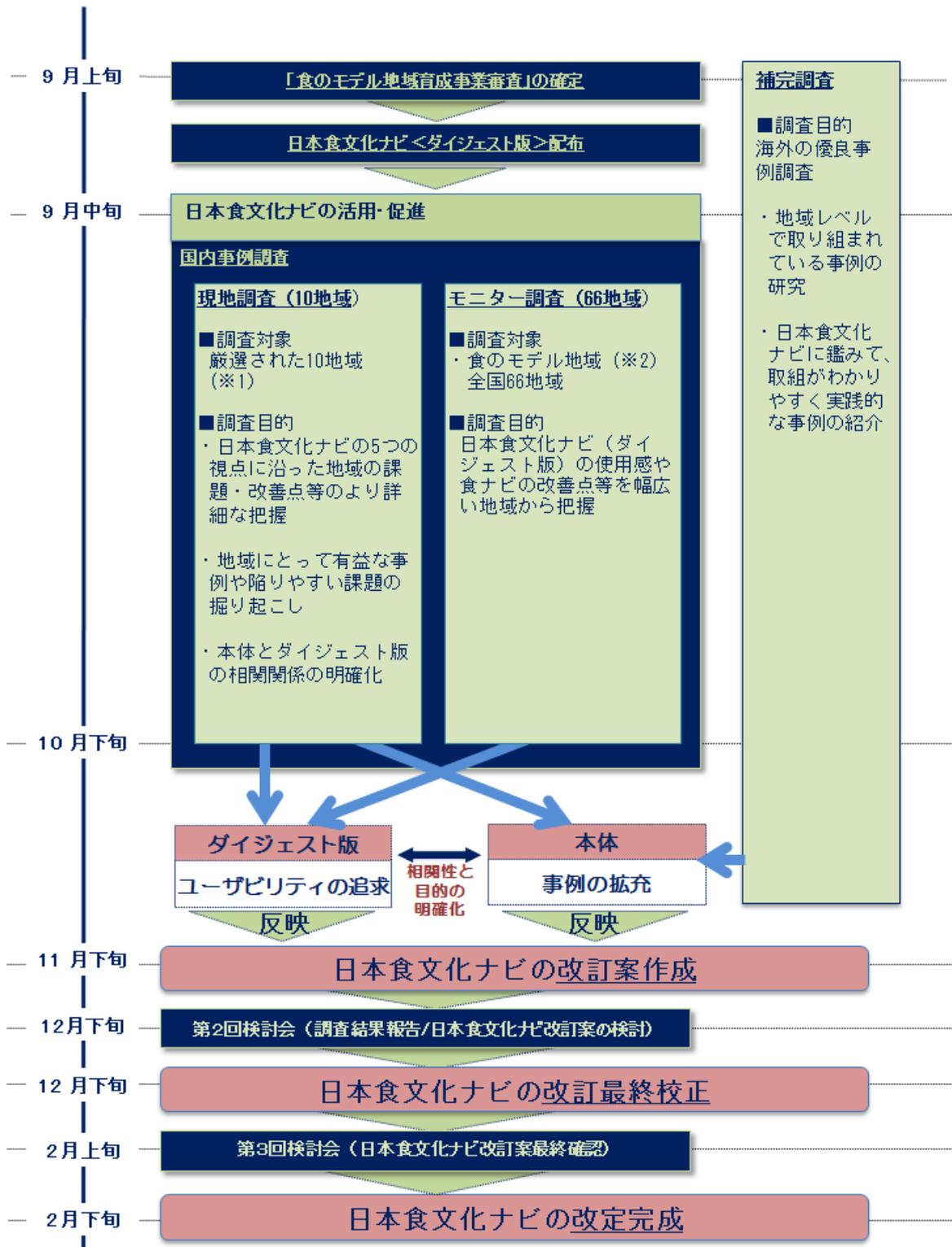
### 1 基本的な考え方

- ・ 昨年度の「地域食文化活用マニュアル検討会」における議論を経て、「日本食文化ナビ」を作成したところであるが、現時点では、本ナビはまだ活用されていない、いわば“ver.0.5”の段階。
- ・ このため、地域活性化の取り組みが行われている、もしくはこれから行おうとしている地域で「日本食文化ナビ」の使用感を確認し、活用者が望む情報等を引き出す。これにより、「日本食文化ナビ」を使用する目的の明確化と、ユーザビリティの追求を行い、真に、使える「日本食文化ナビ」への更なる深化を図る。
- ・ 具体的には、今年度から農林水産省が実施する、地域で生産・製造される国産農林水産物や食品の消費拡大を図るための商品開発、販路開拓、人材育成等の取組を支援する「食のモデル地域育成事業」の対象地域（食のモデル地域）を中心に、現地調査及びモニター調査を行う。
- ・ これらの調査結果を基に、「日本食文化ナビ」の本来の目的である実用的な手引きとするため、地域の活動を簡易に評価できる“ダイジェスト版”と課題解決のヒントを得るための事例等を整理した“本体”との相関性を高めた、より実践的な地域活性化のためのサポートツールとする。その際には、「日本食文化ナビ」の5つの視点を軸とした整理とする。
- ・ なお、上記を補完するものとして、国内の地域における取組みに新たな気付きを与えるための参考となる、海外の優良事例についても調査を行う。

## 2 業務の全体図（フロー）

本業務の全体図（フロー）は以下のとおり。

食のモデル地域育成事業の開始は9月となるため、現地調査・モニター調査ともに、可能な限り事業開始に合せたタイミングで調査を行うことが、今後のモデル地域の取り組みの改善の上で効果的であるため、第1回検討会開始後速やかに業務を実施。



※1 10 地域の選定基準

- 1) 「日本食文化ナビ」に照らした状況（【視点0】～【視点5】）に偏りがないう抽出
- 2) 「日本食文化ナビ」から見た取組内容がわかりやすい地域
- 3) 取組の中で、課題が明確な地域
- 4) 地域バランスも考慮

※2 「食のモデル地域」とは、地域の協議会組織による食のモデル地域構築計画に基づき、医療・介護・観光等、異業種と連携した地域食材の利用を促進する商品開発、販路開拓、人材育成等の取組を実施する、農林水産大臣が認定した地域。食のモデル地域育成事業（補助金）の申請に当たっては、同認定を得ていることが要件。

### 3 各調査のポイント

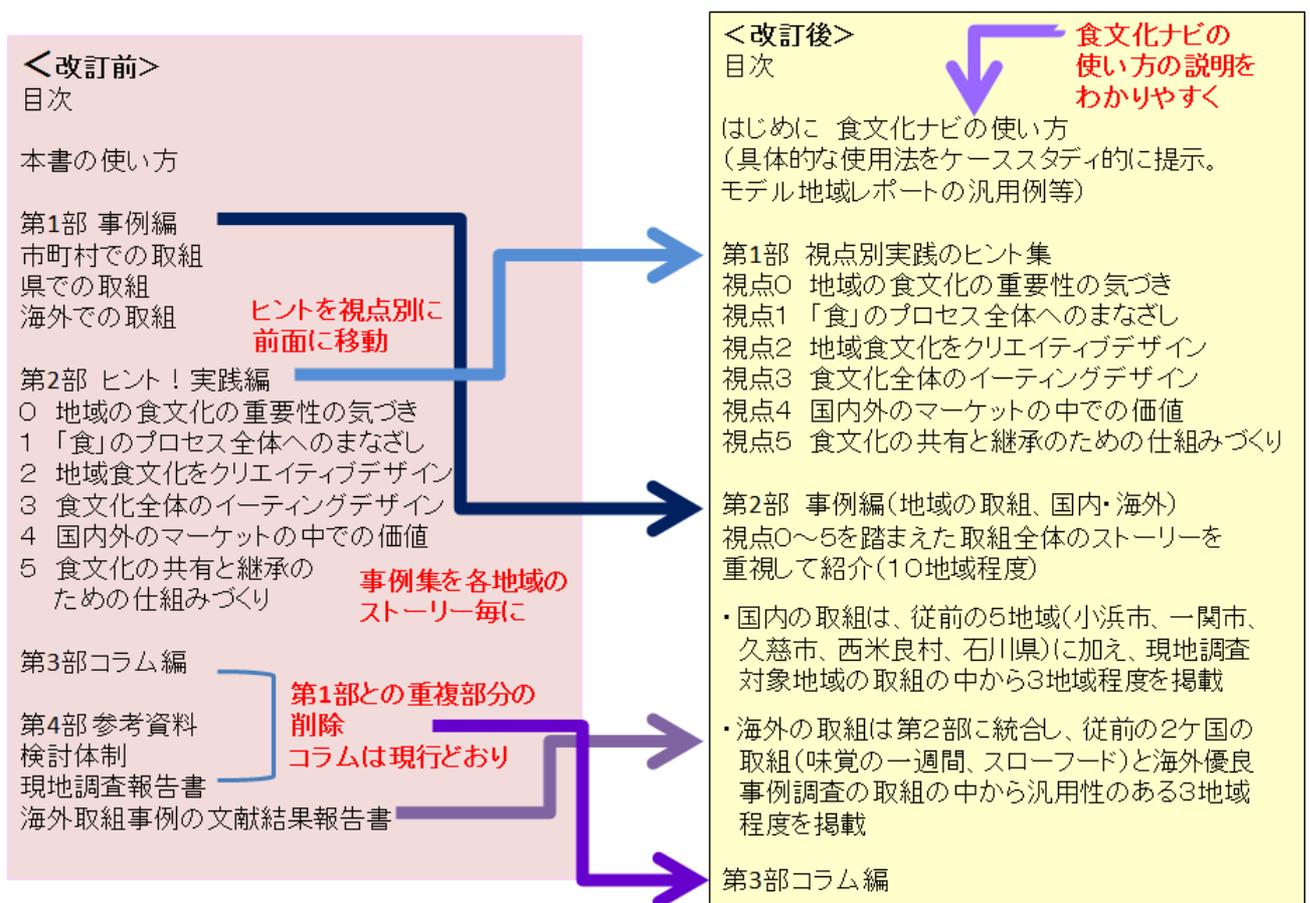
モニター調査及び現地調査にあたっては、以下の方針で実施する。

|             | 現地調査   | モニター調査   |
|-------------|--|--|
| 調査目的        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本食文化ナビの5つの視点に沿った地域の課題・改善点等の詳細な把握</li> <li>・地域にとって有益な事例や陥りやすい課題の掘り起こし</li> <li>・本体とダイジェスト版の相関関係の明確化</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本食文化ナビ（ダイジェスト版）の使用感や日本食文化ナビの改善点等を幅広い地域から把握</li> <li>・見た目の修正</li> <li>・理解のし易さ向上</li> <li>・実用性・本体との相関性向上</li> </ul> |
| 調査方法        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリング調査</li> <li>・現地のモデレーターが同行し、地域の関係者へグループインタビューを行う</li> <li>・地域の成功事例と課題解決方法を視点0～5に沿ってタイプ別に分け取組状況を把握する</li> <li>・事前に日本食文化ナビを送付</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送法によるアンケート調査及び電話インタビュー</li> <li>・調査票に日本食文化ナビを同封して送付し、ワークシートへの記入を依頼</li> </ul>                                     |
| 調査地域        | <p>厳選した地域 10 地域</p> <p>※選定に当たっては、日本食文化ナビにおける取り組み段階等を考慮</p>   | <p>食のモデル地域 全 66 地域</p>   |
| 日本食文化ナビへの反映 | <p>視点0～5の取組において、地域がつまずきやすい点や課題を解決するポイント等を把握し、日本食文化ナビ“本体”の事例を拡充</p>   | <p>ユーザビリティを追求するためのポイントを把握し、主に日本食文化ナビ“ダイジェスト版”を改善</p>   |
| 調査期間        | <p>平成 25 年 9 月中旬～10 月下旬</p>  | <p>平成 25 年 9 月中旬～10 月下旬</p>  |

海外優良事例の調査に当たっては、以下の方針で実施する。

| 海外優良事例調査    |   |
|-------------|---|
| 調査目的        | 地域レベルで食を介した地域活性化の取り組み実績を上げている、日本食文化ナビに鑑みて取組が分かりやすい海外事例の調査 |
| 調査方法        | 文献調査  |
| 調査地域数       | 3 地域  |
| 日本食文化ナビへの反映 | 日本食文化ナビ“本体”の海外優良事例を拡充                                     |
| 調査期間        | 平成 25 年 9 月上旬～11 月下旬                                      |

#### 4 日本食文化ナビ“本体”の改訂イメージ



## 5 スケジュール

### 第1回検討会 8月28日(水)

事業の進め方、調査概要の確認

日本食文化ナビの改訂ポイントについての意見集約

- 現地調査実施 (9月～10月)
- モニター調査実施 (9月～10月)
- 海外優良事例調査実施 (9月～11月)

### 第2回検討会 12月中旬

調査結果報告

日本食文化ナビ改訂案の検討

### 第3回検討会 平成26年2月上旬

日本食文化ナビ改訂案最終確認